

北海道行動援護従業者養成研修講師一覧

講師名	所属	専門分野	略歴・業績等
黒川 新二	黒川メンタルクリニック 院長	児童精神医学 自閉症医療 (強度行動障がい薬物療法)	兵庫県こども病院精神科医長、北海道立精神保健センター研究調査部長、市立札幌病院静療院児童診療センター担当部長(札幌のぞみ学園園長兼任)を経て平成25年4月クリニック開業。日本の行動障がいをともなう自閉症の人たちへの医療的なケアの道筋を切り開く
箭内 宏行	YES Care Project 専務取締役統括部長	行動援護の実践	入所施設にて約20年間、強度行動障がいのある方への支援に携わった後、重度の障がい者から高齢者まで地域の中で幅広い支援を展開している現法人の運営役員に就き、事業の拡大に取り組む。そのため、経営や制度への理解が深い。その一方で日々行動援護ヘルパーとして実際の支援にも携わっている。事業所間のよこのつながりを担う「さっぽろ行動援護ネットワーク」代表も務める
平木 恵	YES Care Project ライラックヘルプステーション 係長・サービス提供責任者	行動援護の実践	12年間入所施設に勤務し、そのうち約8年間、強度行動障がいのある方への支援に携わる。その後、重度の障がい者から高齢者まで幅広い支援を展開している現法人に勤務し、主に行動援護ヘルパーとして様々なケースに関わる。家庭や他事業所等と連携や支援の実績が豊富である
新居 慶英	北海道ケア・サポート 居宅支援事業者らいとくらぶ 管理者	行動援護の実践	精神障がい者の支援に携わった後、知的障がい者の支援に従事し、重度の知的障がい者、高齢の知的障がい者、自閉症者の支援を経験する。平成25年から居宅介護事業所勤務にて行動障がいのある自閉症児者の外出支援に取り組む。また重症心身障がい者の支援にも取り組み、経験の幅は広い
白川 栄義	あむ 居宅介護等事業ばでい 管理者	行動援護の実践	小規模共同作業所職員として約4年間、地域の障がい者支援に携わり、その後重度の障がい者のヘルパーとして訪問、外出支援を約7年行う。生活介護事業のサービス管理の経験も積み、現在は行動援護等の管理者とヘルパー業務を兼任している。行動障がいのある自閉症者から重症心身障がい者の支援まで経験の幅は広い
田村 元基	Colors 道南支部Roots 副支部長	行動援護の実践	生活訓練支援員を2年勤め、精神、知的、発達障がい者のサポートを行ったのち、ヘルパーとして現在まで6年、主に行動援護、移動支援を通じて地域での余暇支援を拡大する一方、身体障がい者の生活支援、函館での事業所設立にも携わる。何より現場第一主義。近年は住居事業のリーダーも兼務し後輩の現場指導にもあたる。
野田 宏	パーソナルサポートセンターばけっと 地域活動支援センターえみな 所長	自閉症支援	重症心身障がい児施設および知的障がい者入所施設にて行動障がいのある利用者支援を約15年経験する。その後、はるにれの里にて自閉症支援を中心とした業務に従事し、一人暮らしの方の支援にも携わる。また、生活介護やグループホームの整備にも携わる
中幡 恵太	パーソナルサポートセンターばけっと 副主任	行動援護の実践	学生時代から居宅介護事業所でヘルパーとして活動、その他特別支援学校でのボランティア活動などで発達障がい児の支援に関わっている。現所属法人では、3年間グループホームでの支援を経験し、現在は行動援護ヘルパーとして主に強度行動障がいのある方へのサポートを行っている。
西尾 大輔	札幌市自閉症・発達障がい支援 センターおがる 所長	自閉症支援	元特別支援学校教員。発達心理学および自閉症について専門的に学びを積み重ねるとともに、現職業務を通じて福祉・教育・労働・医療等の様々な機関へのコンサルテーションや専門職向けの研修講師を務める
坂井 翔一	札幌市自閉症・発達障がい支援 センターおがる 副主任・コラボレーター	自閉症支援	大学でのボランティア活動で児童から高齢者に渡る幅広い支援に関わり、ヘルパーや児童デイ支援員として経験を重ね、現在は自閉症など発達障がい児者への相談や支援機関との連携、スーパーバイザー、コラボレーターなど地域の多様な相談に対応する。研修の企画運営、講師としても活躍中
石田 昭人	はるにれの里行動援護従業者養成 研修事務局 課長(事務局担当)	行動援護の実践	行動援護従業者として長年の現場経験と行動援護従業者養成研修講師の実績がある。他、発達障害者支援センターや生活介護事業所等にて、主に自閉症の方の地域生活支援に関わる、就労、療育、相談支援等の現場経験がある。また「さっぽろ行動援護ネットワーク」の立ち上げ、事務局を担い、地域の事業所間ネットワーク、行動援護サービス基盤体制づくりのための活動も行っている